

2025年1月20日



日本サーバス会長 T. Y.

新年あけましておめでとうございます。

いつもサーバス活動にご理解、ご協力ありがとうございます。新しい年が会員の皆さまにとって健康で、幸多い年となりますよう心からお祈り申し上げます。2025年が静かにスタートしました。昨年の1月1日は能登半島地震のニュースがかけめぐりました。また、9月には能登に豪雨をもたらした“二重被災”で1年たってもまだ水道の出ない地区があることを知りました。こんなに進んだ日本でこういう状況があることに驚き心が痛みます。すべての被災された方々に心の平穏が訪れますようお祈りします。

いいニュースもありました。被爆80年を前に日本被団協が今までの取り組みを評価されノーベル平和賞を授与されたことです。これからも被爆者の声を世界に向けて発信しそれが核兵器廃絶につながっていくことを願わずにはおれません。

今年もサーバス活動を通して、いろいろな国の会員さんと交流、体験をされることと思います。私たちの取り組みは小さなものかも知れませんが、小さな取り組みがたくさん集まればサーバスの目的の一つである「個人的な交流を通して世界平和の構築を助ける」に少しでも近づくのではと思います。

今年もトラベラーとの出会いを楽しみに、1日1日を大切に感謝の気持ちで過ごしていきたいと思います。今年もどうぞよろしくお願い致します。

今号は次の内容を掲載しています。

1. 支部だより	大分での秋例会	九州支部
	秋例会 in 大分を終えて	K. C.
2. 本部よりお知らせ	1) トラベラー認定料の増額のお知らせ	
	2) 第44回日本サーバス国内会議のお知らせ	
	3) 役員辞退に伴う候補者の募集の結果	
3. ユースキャンプ		ユース部長 N. Y.
4. 国際サーバスイベント		
5. 旅行レポート		近畿支部 T. O.
6. 国際サーバス会報2024年3号	国際部	7. 編集後記 T. F.

1. 支部だより

大分での秋例会

九州支部

2023年11月の台湾で最後の東アジア会議が行われ、これからは国同士でなく支部間での交流を主体にしていきたいと思いますというお話がありました。九州支部では11月17日—19日の2泊3日で大分で秋例会を行い、台湾から10名、韓国から14名、九州支部から17名と41名の参加で大いに交流の花が咲きました。執行部の皆さんの長期間にわたる、計画、話し合い、交渉など大変なお世話で皆、楽しいひと時を過ごすことができ、別れを惜しみつつそれぞれの家路につきました。大分でお世話をいただいたK. C.さんのレポートを掲載させていただきます。

秋例会 in 大分を終えて

K. C. (大分)

一昨年の秋例会の折、次の交流会を引き受けてくれる県はないですかとの問いかけに大分が協力することになりました。それから韓国、台湾の方をお迎えするまでの時間の流れの速かったことは言うまでもありません。しかし温泉は出るとは言っても、交通の便の悪さはいかんともしがたく、その点が一番のネックでしたが、民間の心ある方のご協力を得て3日間バスをお借りできて、何とか計画通りに事が運べたことに、安堵したことでした。正直、最初に聞いていた外国の方の人数が、連絡が入る度に増えていったときは不安ばかりが頭をよぎり、悩みもしました。会員さん達の協力の下、力強い言葉を頂けて無事終了出来ましたことに感謝の言葉しかありません。皆さんとの再会をお約束しつつ、お別れをしましたが、同じ仲間が一時ではありますが、同じ時間を共有出来る事の嬉しさ、楽しさを経験した3日間でした。

再会の ハグの約束 肩超しの みあぐるそらに 有り明けの月 C

2. 本部よりお知らせ

1) トラベラー認定料の増額のお知らせ

国際本部への拠出金の大幅な増額により、日本サーバスの財政がひっ迫し、ぜい弱な財政基盤を改善するために具体的な提案が、昨年12月23日の臨時国内会議に諮られ承認されました。その一つにトラベラー認定料を2,000円値上げすることが決定されました。

トラベラー認定料に関して下記のように実施しますので、ご理解いただきますようお願いいたします。

記

(1) トラベラー認定料

ホスト会員、家族会員及び学生会員： 5,000 円 (従来は 3,000 円)
トラベラー会員： 8,000 円 (従来は 6,000 円)

(2) 実施開始日

2025 年 1 月 20 日：トラベラーとして認定され認定料を納入する日

(3) 備考

支部におかれましては、実施開始日から改訂金額で会員から徴収し、年末にまとめて本部に納入して下さい。

2) 第 44 回日本サーバス国内会議のお知らせ

今年は 2 年に 1 回の国内会議が開かれる年です。下記の日程で行います。

記

日 時：2025 年 3 月 15 日(土)

時 間：12:00～17:00 会議

場 所：福岡市相良区

会議後の懇親会：近くのお店 (2 時間～2 時間半)

2 日目：3 月 16 日(日) 観光 9:00 から 糸島 (6 時間ぐらい)

国内会議、観光の概要についてはメールにてお知らせしています。

問い合わせ先 支部長を通して会長 T まで

3) 本部役員辞退に伴う候補者の募集の結果

昨年7月に「ユース部長」の N. Y.さんと「会員情報および文書管理者」、「本部 IT 委員」の N. S. さんから「次年度(2025 年度)における職務を辞退する届」が提出されました。これに伴い自薦、他薦を含め広く候補者の募集を一か月間行いました。また長らく空席になっていた役職「ピースセクレタリー」の募集も一緒に行いました。幸いピースセクレタリーには N. Y.さんが申し出て下さいました。3 月 15 日の国内会議で諮っていただくこととなります。

残念ですが「ユース部長」、「会員情報および文書管理者」および「本部 IT 委員」にはどなたからも申し出はありませんでした。このままで 3 月の国内会議を迎えますと「ユース部長」と「会員情報および文書管理者」および「本部 IT 委員」は、4 月以降空席の状態になりますので、極力自薦、他薦をお願いいたします。

3. ユースキャンプ

ユース部長 N. Y.

日本サーバスユース部主催 ユースキャンプが下記の日程で行われます。

記

日 時 : 2025年3月21日～23日
場 所 : 京都 宇多野ユースホステル
目 的 : 日本料理体験、茶道体験やサーバス活動を通しての経験の共有、プレゼン等を通じ、世界各国のサーバスメンバーとの交流を図ること。

参加者 : 合計10名 (日本側スタッフを含め計13名)

男 性 : タンザニア (1)・ジョージア (1)・カナダ (1)・
ガンビア (2)・日本 (東海北陸 : 1)

女 性 : カナダ (1)・台湾 (1)・フランス (1)・ポルトガル (1)



京都の茶屋 (撮影 N.)

4. 国際サーバスイベント2025

各国で以下のイベント2025が開催されます。

ドイツ	春のユースキャンプ	3月20日-3月23日
韓国	ピースライド	5月19日-5月22日
スイス	ミーティング	6月7日 -6月9日
アルプス	アドリア ミーティング	9月26日-9月28日
フランス	国際サーバス総会	10月3日-10月9日

5. 旅行レポート

「竹中プロジェクト」を利用したのサーバスホームステイ

近畿支部 T. O.

祖父母からサーバス、そして竹中プロジェクトの存在を教えていただき、そちらを利用して昨年8月28日から9月5日まで、韓国に滞在しました。最初、ホームステイ先を探すのに苦戦しましたが、ご紹介などたくさんの手助けをいただき、なんとか4組のサーバス会員の方へアポイントを取ることができました。英語でメールのやり取りをするのは私にとってはほとんど初めての経験で、不安を抱えながらもメールを送る中で韓国への旅行への期待が高まっていたのを覚えています。

今回の韓国への旅行は私にとって初めての一人旅であり、不安もありましたが、ホームステイ先のサーバス会員の方々はみなさん温かく迎え入れてくださいました。まず、Y. Y. さんご夫婦とお会いし、到着後すぐに近所の焼肉店で夕食をいただきました。韓国式焼き肉を食べるのは初めてで、とても美味しく感激しました。夕食後には、近くのアートミュージアム周辺を散策し、きれいな夜景を楽しみました。夜はホストご夫婦と交流し、これまでの活動や旅行のお話を伺い、とても充実した時間を過ごしました。

2日目は、聖水、明洞、江南を巡るハードスケジュールでしたが、ホストの旦那様が終日同行してくださいました。朝は素敵な参鶏湯で始まり、韓国のりをお土産にいただくなど、お心遣いがとても温かかったです。また、キンパ作りも体験させていただき、韓国の家庭料理に触れる貴重な時間となりました。その後、大邱に向かう前に有名な図書館やソウル駅までご案内いただきました。案内のおかげで、観光客としてだけでなく、様々なソウルの一面を知り、満喫することができました。

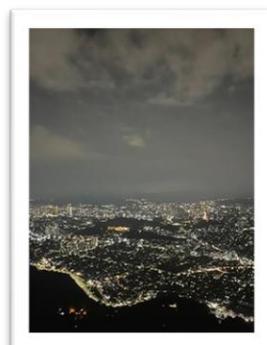


その後、KTXで大邱に向かい、Sさん、Hさんと最寄り駅のピアノ前でお会いしました。お

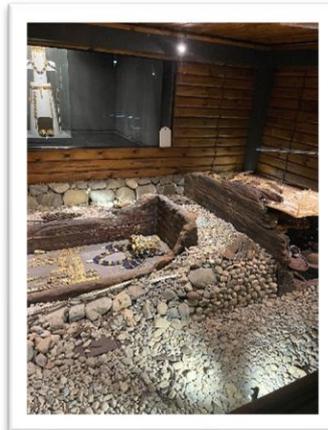
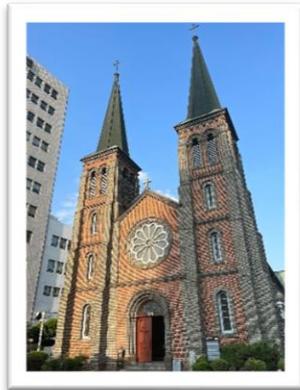
家に到着後すぐ、たくさん家族のお話をしてくださり、終始笑顔が絶えない楽しいひとときを過ごしました。さらに、息子さんが出版された本の日本語版をいただきました。夕食にはジャジャンとチャプチェをご馳走になり、その後、地元のダンス集會に参加しました。温かい拍手で迎え入れていただき、地元の方々と一緒にダンスを楽しむ明るい雰囲気に包まれ、とても充実した時間を過ごしました。最後に撮った集合写真は、大切な思い出です。

4日目は一人で大邱を散策しました。韓屋風のスターバックスでゆっくりした後、東路でウィンドウショッピングを楽しみ、自由な時間を満喫しました。夕方にはSさん、Hさんと合流し、大邱名物のマッコッキャンとコプチャンを堪能しました。どちらもホルモン好きにはたまらない美味しさで感動しました。その後、夜景が美しい山をハイキングし、頂上からの景色と写真撮影を楽しんだのがとても印象に残っています。急な斜面を登るのは大変でしたが、頂上の絶景を目にした瞬間、その価値を実感しました。

5日目の朝は、ピアノモチーフのモニュメントが多くある公園での散策から始まりました。ここは韓国で初めてピアノが運ばれた場所だそうで、歴史を感じられる場所でした。そこでいただいたキンパとトッポギは絶品で、特にキンパの美味しさは忘れられません。新しいホストの温かいおもてなしと地元ならではの交流のおかげで、特別な思い出を作ることができました。



6日目には、3組目のホストであるS. K.さんに慶州に連れて行っていただきました。歴史的建造物や世界遺産を訪れ、特にたくさんの古墳が印象的でした。貴重な体験をさせていただいたお礼として、昼食と夕食をご馳走し、文化と歴史に触れながらS. K.さんとの時間を楽しみました。



7日目にはソウルに戻り、M. S. L.さんとご主人にお会いしました。日中は弘大などソウルの各地を一人で巡り、韓国らしい活気を堪能しました。その後、夜ご飯をご一緒し、息子さんとその同僚の方も加わってたくさんのお話を伺いました。さらには、息子さんの写真スタジオにもお邪魔するという貴重な体験ができました。夜には車でソウルの名所を案内していただき、散歩も楽しみました。美しい夜景や梨泰院やナムサンタワーなど自力では行けなかった場所を巡ることができ、思い出深いひとときとなりました。特に夜景を眺めながらの散歩は、非常に心に残る時間となりました。



今回の韓国でのホームステイは、私にとって初めての一人旅であり、初めてのサーバス利用という挑戦でもありました。不安もありましたが、ホストの皆さまの温かいおもてなしやサポートのおかげで、韓国文化や人々の温かさを直接感じることができ、充実した旅となりました。また、初めて英語でコミュニケーションをとる経験を重ねることで、自分自身の成長も感じられました。

最後に、受け入れてくださった韓国サーバスメンバーの方々、サーバス入会から竹中プロジェクトへの申請まで多大なご助力をいただいた近畿支部長のA様、ホームステイ先を探すにあたって大変お世話になったT様、支援金を提供してくださった竹中プロジェクト様、この機会を与えてくださった祖父母に心より感謝申し上げます。

6. 国際サーバス会報 2024 年 3 号

SINB (Servas International News Bulletin) Vol.52 No3, 2024
 記事を要約してお届けしています。(国際サーバスのホームページで全文が読めます)

国際部代表 T. 今回の担当 T., M.

p	タイトル、著者、要約
3	President's Message by R. B. R. 国際サーバス(SI)会長
4	I 2024 年を振り返って
5	1 <Servas.org> には現在 18,125 名の会員がいる。2024 年 7 月開始の Servas.org の V2
6	が受け入れられ、そして、利便性追求の為に維持し改良に携わるユース会員、開発委員会、テクノロジーチームから成る<membership team>を作った。このチームに参加しませんか？
	2 <Peace Schools> トルコ、ジョージア、ウガンダ、アルゼンチンで開催。SI は自国でこの
	事業をやりたい人の為に核となるチームを作った。
	3 <Youth Camp> ドイツとフランスで実施され、ドイツは 2025 年 3 月に次のキャンプを
	計画中。SI は資金とボランティアのサポートをする予定。
	4<Servas Women> 国連チームは何年もこの活動に取り組んでいる。
	<Environment> 気候変動による災害に関わるチームを作り、各国で活動に為の教育や
	ガイダンス提供をする。
	5<Peace Forums> 定期的で開催し、様々な話題を提示した : SYLE(Servas Youth Language
	Exchange)、ユースキャンプ、ピーススクール、ピースウォーク等。次のフォーラムにも参加
	を！
	6<Storytelling Competition> 既に初回の分を終え、結果は近く発表の予定。
	1 年間の仕事をこなし本部役員にお礼を申し上げます。これらの仕事の多くが舞台裏で行われ、
	すぐには目に見えるものではないけれど、全体の活動の成功のために重要な事です。
	II 2025 年 サーバス国際会議に向けて
	10 月 3 日~9 日、フランスのディジョンで開催します。奮ってご参加ください。
	写真 : p 3 サーバスウェブサイトメインページの写真、p 4 ジョージアピーススクール、p 5
	ウガンダピーススクールの子供たち
7	Africa Regional Conference by Philip O, Dalton O. アフリカ地域会議報告
8	ケニア、ウガンダ、タンザニア、ルワンダ、エジプト、合衆国、英国、イタリア、ポルトガル、
9	メキシコ、台湾、韓国、クロアチアの 13 か国から 64 名の会員と、本部から会長、副会長、
10	ピースセクレタリーが参加。
	テーマ : 環境維持を通して平和な世界を

	<p>歓迎式典、スワヒリ文化体験、サーバス 75 周年記念として 75 本の植樹等、ケニアサーバス会長等の挨拶。国際サーバス会長は全ての人の尊厳、平等な人権、環境の保護について、ピースセクレタリーはサーバス会員として世界平和を促進しより良い世界の実現について語った。</p> <p>分科会等の催し</p> <p>*暴力以外の方法で紛争解決 *気候変動 *サーバスクース *サーバスアフリカの発展 *ホスピタリティと文化交流で偏見を無くすサーバス活動の役割 *ワンガリマータイ氏 (2004 年ノーベル平和賞受賞者) の紹介 *Servas.org V2 の説明 *サーバスウーマン；男女平等、共生について *音楽やダンスを含む各国のプレゼンテーション</p> <p>閉会式：国際サーバス会長の総括と参加者への謝辞</p> <p>写真： p 7 伝統的な衣装のダンサー、</p>
11 12	<p>Australians at Peace Camp in Georgia by W. B. オーストラリアサーバス ジョージアピースキャンプ参加</p> <p>ジョージアへの個人旅行と Lamovani のピースキャンプの日程が 1 日だけ一致したので参加した。</p> <p>元気で、素晴らしい英語教師 N.が主催したこのキャンプはサーバストルコの M.会員主催の 2009 年から続くピーススクールに触発されたもので、M.と 7 人のボランティアもトルコから駆け付けた。コロンビア、オランダ、韓国、インド、合衆国、香港、ヨルダン、オーストラリアのボランティアが集まり、多くの教師と生徒が集まった。ゲーム、歌、ダンス、健康チェック、アイスクリーム作り、それに加えて参加者がお互いに話をする時間がたっぷりあった。会場を去るのがとても心残りだった</p> <p>写真： p 12 音楽は平和の共通言語</p>
13 14	<p>Help! <スペインでの悲劇と同時にどう手助け出来るのか> by SI</p> <p>先日のスペインの洪水で破壊的な被害を受けた家族やコミュニティの皆さんに国際サーバスから連帯とお悔やみの言葉をおくり、スペインサーバスを含め助けの手を差し伸べる人々への感謝の念を表明します。</p> <p>情報や募金に関してはネットのリンクには注意する必要があります。以下のサイトから入ってください。</p> <p>https://servas.org/news/recent-environmental-and-human-tragedy-spain-and-how-you-can-help</p>
15 16 17 18	<p>A most inspiring encounter in Florence by S. B.カナダ モントリオール (最も発奮させられたフィレンツェでの出会い)</p> <p>私は 2014 年にサーバス加入、語学研修の為に奨学金をもらいフィレンツェで 4 人の方にホストして頂いた。10 年後 2024 年に夫と私はフィレンツェを再訪。また 4 人の方にホストして頂いた。その中の A.は 91 歳で、20 歳の時の米国留学中にサーバス創設者のボブ＝ルートワイラーに出会い、その後 70 年間サーバス活動をしている。夫の A.と社会正義と非暴力の思想を心に据え、4 人の子どもを育て、サーバストラベラーを受け入れてきた。今は娘の A がその志を</p>

	<p>受け継いでいる。A はエネルギーに 10 月上旬のフィレンツェの<平和の行進>に参加し、A は 10 月末イタリアサーバス総会を組織した。</p> <p>私はこの心温まる出会いの時、サーバスカナダのピースセクレタリーの職を引き受けることを決めた！</p> <p>写真： p 15 ホスト達との夕食、p16,17 オリーブの収穫とオリーブ畑。 p 18 A さん母と娘</p>
19	Who Are We? SERVAS WOMEN — W By K. M.
20	<p>平和推進を目指す SI は、2024 年 9 月 “Servas Women” を正式に承認した。3 月にニューヨークで開催される国連女性の地位委員会会議 (CSW) に向けて取り組んでいる所である。すべての会員が、いろいろな形で参加できる。Servas Women のアフリカや南アメリカでの活動が紹介されており、詳しい情報の web ページや連絡先が掲載されている。写真は、イコールのジェスチャーをしているアフリカの女性たち。</p>
21	Climate Justice must be at the Heart of SI Activities (気候正義が SI 活動の中心になるべきである) By C. P., Servas Britain and Ireland
22	<p>2024 年 8 月に開催された東アフリカのサーバスイベントで、モンバサでのサーバスケニア平和会議とブヨガ村でのサーバスウガンダ平和学校へ参加した際のレポート内容である。会議開始直前にも、大規模な土砂崩れのため壊滅的な被害をもたらしたという悲しいニュースが流れた。イベントでは、気候危機の問題が話題の中心で、共通して参加したサーバス会員は、植樹活動を行った。</p>
23	Peace Thinkers Members (平和思想家)
24	Meet at Thinkers Lodge National Historic Site (シンカーズロッジ国定史跡で会合)
25	<p>By T. K., Nova Scotia Member Administrator, Canada</p> <p>2024 年 7 月 20 日、ノバスコシア州 (カナダ) サーバス会員が、平和の地として有名なパグウォッシュの Thinkers Lodge で会合を開いた。</p> <p>1957 年開催の Thinkers 会議が最も有名。冷戦の真只中、鉄のカーテンの両側 (中国、ソ連、カナダ、イギリス、日本、オーストラリア、アメリカ、その他のヨーロッパ諸国) から科学者が集まり、原爆の放射線の危険性について議論した。Thinkers Lodge に滞在した科学者もいた。この会議・グループこそが現在存在する国際的な運動：科学と世界情勢に関するパグウォッシュ 会議を生み出したのである。(オッペンハイマーの映画でも描かれている)。ポーランド出身の物理学者ジョセフ・ロートブラットは、最初の原子爆弾を開発するマンハッタン計画に携わっており、その罪悪感から 1957 年の会議に出席し、その推進に生涯を捧げた。1995 年、ジョセフ・ロートブラット (写真) とパグウォッシュ運動はノーベル平和賞を受賞し、Lodge に展示されている。</p> <p>ここは、平和のために旅した 経験やストーリーを共有するサーバスメンバーの会合に最適な場所と言える。Thinkers Lodge についてさらに詳しく知りたい方は、1 月のオンラインプレゼンテーションへの招待状をお待ちください。 .</p>
26	Seeds of Hope (希望の種) By A. Stark of Hobart, Tasmania, Australia

27	SI から、私たちの創立 75 周年と国連の国際平和デーを祝うために、世界規模のテーマとして植樹を行えないかという提案があった。その計画を、平和市長会議のメンバーであるホバート市議会が開催する特別イベントと組み合わせることにした。写真はイチヨウの植樹の様子、Servas 横断幕、折り鶴。
28	My SYLE in Brittany (ブルターニュでの SYLE 体験) By P. 16 歳の女子で、英語力向上のため、英語圏での Servas Youth Language Exchange (SYLE) を希望。2024 年 5 月からの 7 月までの 6 週間、ブルターニュ地方のレンヌの家族と過ごした体験が書かれている。2 人姉妹のうちの一人の学校にも通うことができ、次は彼女らが自分を訪ねてくれることを楽しみにしている。
29	Active Germans By M. K. (サーバスドイツ副会長)
30	サーバスドイツの年次総会がマンハイムで開催された。10 名の若者を含め約 90 名の参加。スピードデート、遠足、自転車ツアー、市街や城のツアー、ストリートアート紹介などの多彩なプログラム。SOL バージョン 2 の操作、新しいイベントの企画、お気に入りの旅行本、長距離・長期間の旅行等様々なワークショップで意見交換が活発になされた。
31	Closer than You Think (思っているより近くに) By M. J., SINB editor 今年の夏、Exco メンバーの所にサーバスステイした際、別のカップルにもホストしていただいたり、仲間を夕食に招待してくれたり。その 3 週間後には、元サーバス中国 NS の夫婦をホストし、同時に長年のサーバス友人の訪問も受けた。サーバス会員を訪問するのに地球を一周する必要はない。思っているよりも近くにいるかもしれない。
32	SERVAS INTERNATIONAL NEWS BULLETIN (SINB) SINB 紹介とその関係者紹介 SI EXCO 2022 —2025 SI 執行部の紹介 国際サーバスの理念 『国際サーバスは非営利、非政府の各国のサーバス団体の連合体であり、ホストとトラベラーの国を越えたネットワーク作りを支援します。我々のネットワークは異なった文化や背景そして異なる国籍を持つ人々に個人的な交流の機会を提供することで、世界平和の構築、親善、相互理解の手助けを目指しています。』

7. 編集後記

明けましておめでとうございます。今年も心の栄養になるようなサーバス活動になるように努めていきたいと思えます。どうぞよろしくお願い致します。

今年に入って台湾サーバスの友人からドイツサーバスの男子とのツーショット写真が送られてきました。昨年春ドイツに行った時、2度目のホストステイ先の家庭の息子さんとの写真でした。彼はお母さんと8月に台湾に行き、彼の方は数か月留学生活を送る予定だと聞き、台湾の友人たちを紹介しました。母も子も私の友人たちにデイホストやホストをしてもらったそうです。友情のネットワークをつないでくれたのがLINEやWhatsAppです。サーバス旅行やミーティングのおかげで素敵につながりが出来て万歳！です。そんなこんなでスマホやパソコンを頑張って使いこなさないと！と思う今日この頃です。

日本サーバス副会長 T. F.

